



こんにちは

村田 けい子 です

2018.8.31
No 165

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



議会より

「権現の湯」利用料値上げについて

1回400円 → 500円

8.28 立科温泉「権現の湯」の使用料改定について、前回の全員協議会に出された資料では不十分であったので、追加資料を求め、説明を受けました。

使用料の改定に当たっては「営業にかかわる費用は、営業収入で充当する」＝「営業収支の黒字化」を目指すこととし、料金改定だけでなく、運営方式、職員による接遇、食堂や売店の経営方式などの見直しが必要としています。

権現の湯の入館者は、平成10年度は約24万6千人、H29年度は18万5千人まで減少しています。年度による増減もあるが確実に減少傾向で在り、収支も当初の平成10年度から4年度は黒字だが、その後は赤字が続く状況。リニューアルオープンに合わせて、使用料の改定を議論・答申したものです。9月議会に使用料の条例改定を上程予定。

町の考え方として、温泉館の運営は「住民への必須のサービスではない」との位置づけで在り、大規模改修費など設備改善を除く営業活動での黒字を目指すために、値上げを答申するというものです。改修期間は休館となります。10月1日～11月30日まで。耐震補強工事も同時に。

【主な内容】

- ①、1回券を500円に。11回券+1,000円、50回券で+1,500円、100回券 +2,500円 200回券で+3,000円の値上げ。H29年度の入館者数で計算して、235.8万円の黒字に転換予想。
- ② 子ども料金・和室使用料は変更なし
- ③ 3か月券の復活については、割高感があるため、断念した。

議会で私は、当面のリニューアル効果があるとはいえ、500円に値上げすれば他所との比較で割安感はなくなり、8割に及ぶ町外からの利用者が激減する恐れがあることを指摘。リニューアルしても料金を据え置きした方が、利用が増えるのではないかと、新たなサービス、利用時間を週末は1～2時間延長するなどの工夫が必要であることを提案しました。朝風呂の新設・食堂メニューの一新など魅力アップで利用者を増やす工夫と努力こそが求められていると考えます。

皆様のご意見・アイデアをお寄せください。

【プリペイドカード導入による変化】効果はあったの？

H25年度とH28年度との比較

・導入前に比べ入館者は1万人以上の減少。

大人入館券▲11,278人 こども▲1,020人

回数券▲25,736枚 ▲1,336枚

新たにプリペイドカード購入者は 71,807枚で +8,143枚

と増えましたが、総入館者数は 17,578人減少しました。

*収入では 入館券 ▲4,736,800円 回数券 ▲2,016,000円

回数券で4,219,500円 増えましたが、購入者は▲308人 減

収入全体では ▲511.2万円の減少でした。

*期間券 H25年度 買っていた人 779人

プリペイドカードの回数券購入者 471人 と激減しています。



カンピョウ
製造装置



今週の
パチリ

種から芽を出した夕顔を2本も収穫。

瑞香園のシェフから

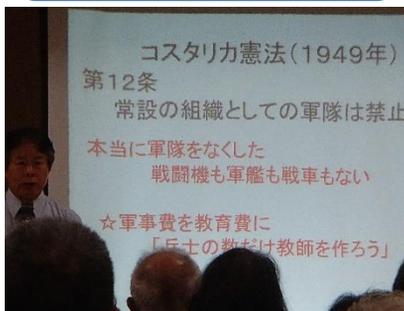
「割り箸を利用して夕顔をむく」と教わり、早速試してみました。非常に軽快にかつら剥きができて、長さは1m以上にも。早速竿に干しました。



「15%の人々の一斉行動が政治を動かす」

伊藤千尋さん(ジャーナリスト)の言葉

8.18 平和のための戦争展での記念講演で。



本当に軍隊を無くした国、コスタリカ。文字通り憲法が生きる国づくりを進めている。

伊藤さんは、憲法9条の条文を記念碑にしているところが、日本だけでなく海外にもあること、本当に軍隊を無くしたコスタリカの姿を紹介しました。コスタリカは憲法で常設の軍隊を廃止。その結果、戦闘機も軍艦も戦車もなく軍事費を教育費に転換し、「兵士の数だけ教師をつくろう！」を合言葉に、子どもたちの教育に力を注いでいます。それまでのコスタリカは紛争が絶え間なく、国の在り方をみんなで議論。そうした紛争の原因となっている貧困をなくすために、教育・福祉に力を入れた国づくりに転換しました。その結果、幼稚園から高校まで教育費は無償、給食も無料、大学生の70%が給付制の奨学金を受け、教育の目的を「生徒自身が幸せで満たされること」とし、小学校に上がると

一番最初に教えられることは「誰もが愛される権利があること」だそうで、その権利が侵害されたと感じたら、誰でも憲法裁判所に訴えることができる体制になっているといいます。

一例として挙げられたのは小学校の隣に産業廃棄物がおかれた問題で、小学3年生の女の子が『臭いが気になって授業に集中できない。何とかしてほしい』という訴えを憲法裁判所に起こし、裁判所は直ちにその子の訴えを認め、産廃業者に撤去を命じたというもの。その間1か月というスピード解決だそうです。

憲法裁判所では、「名前と住所、連絡先、訴えの内容」が書いてあれば訴えを認めるというもので、審判も最長1年のうちに解決しなければならないと決まっているそうです。

かつては憲法に書いてあっても、現実が追い付いていなかったということでしたが、今は「憲法に現実を近づける努力」が進められているようでした。

また、韓国のキャンドル革命も、セクハラを告発した#Me Too運動も、15%の人々が一斉に行動すると「みんながそうしている」と国民が認識して大きく政治が動くこと、強い関心を持つ15%の国民が一斉に動くことで政治を変えられることを強調されました。



3000万人署名運動に取り組もう！ 高知で日本母親大会

8.25「憲法とともに歩み続ける～子どもの未来・暮らし・平和～」と題して渡辺治さんの記念講演がありました。戦後何度も、戦争の反省から生まれた日本国憲法が何度も殺されかけ虐待を受けたが、そのたびに国民の大きな反撃を受けて、改悪の攻撃を撃退してきたが、今また、戦後最大の攻撃がされ、2018年が日本の将来を変える大きな分岐点に立っていることを、戦後の歴史を大きく4つの区分で紹介。今ここに集っている4,200人の私たちが、多くの住民と対話して、憲法を変えさせない戦いを繰り広げようと熱く語りかけました。1時間を超える講演を立ったままの熱演に、参加者一同改めて、ガンバロウと力をもらいました。26日は、60倍の応募者のあった人気の「路面電車で行く自由民権の旅」という見学分科会に当たり、路面電車で自由民権の地を巡りました。

ダイナミックな阿波踊り

明治時代に国民の声の生きる憲政を求め、国会開設運動が高知（当時の土佐）の山間より起こり、それが全国に飛び火、大きなうねりとなって盛んに議論・運動が盛り上がりました。自由民権を求めた若者たちの運動を記念館で学びました。また、「女性にも参政権を」と知事を相手に訴えた楠瀬喜多さんのことを知り、勇気が出ました。むかしの女性たちの闘いが現在を作り、未来のあたりまえのために、ガンバロウと勇気をもらいました。



「自由は土佐の山間より」

今一度、日本を洗濯せんといかんぜよ！坂本龍馬